

第7回 高知大学

物部キャンパスフォーラム



キラリと光れ！高知の農林水産業

～ 「エコもったいない」の視点から、循環型社会の実現に向けて ～

土佐の資源を今一度見直したく申し候

日時：12月12日（土）13：00～17：00

場所：高知大学物部キャンパス（農学部5-1教室）

参加：無料（事前申込み不要、無料駐車場あり）

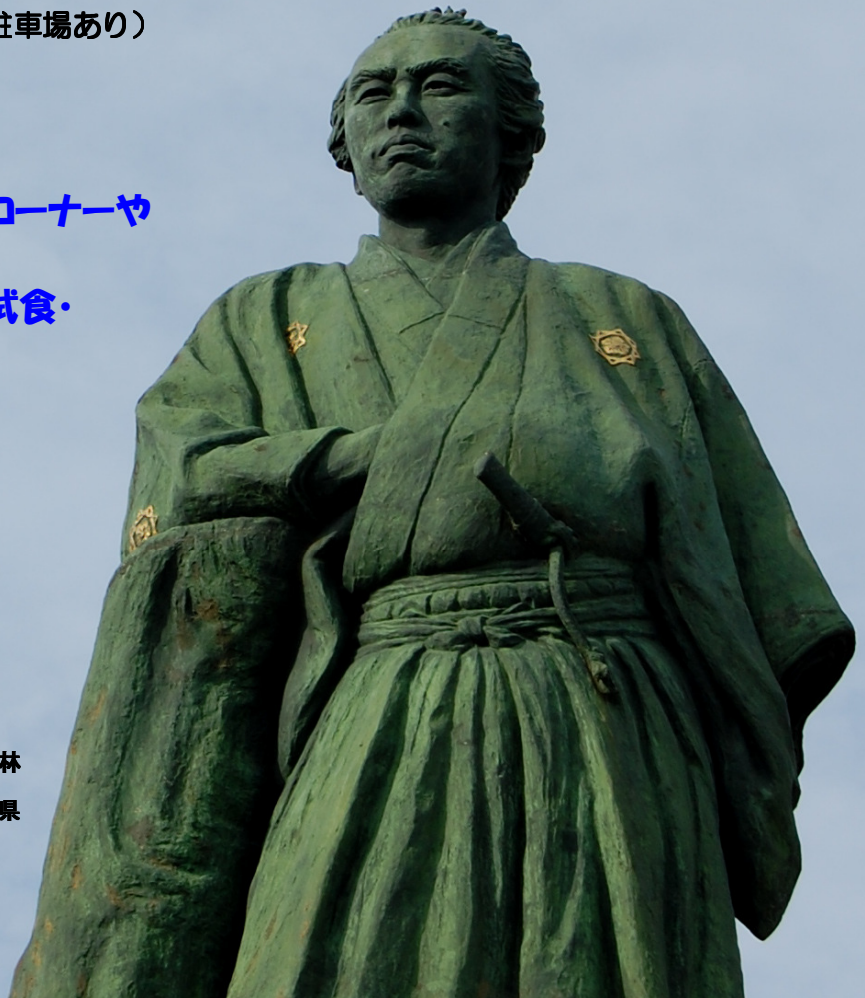
ゆずずり料理（カマ焼き、ずり大根）の試食コーナーや

種なしスイカなどの農学部産野菜の試食・

販売コーナーの催し物もあります。

主催・物部キャンパスフォーラム実施委員会

後援・高知県、南国市、高知市、大豊町、香南市、
香美市、南国市教育委員会、高知県商工会議所
連合会、高知県農業協同組合中央会、高知県森林
組合連合会、高知県漁業協同組合連合会、高知県
園芸農業協同組合連合会



ごあんない

現代社会は、ものを大量に生産し、それを大量消費し、余ったものを大量に捨てるような社会と言われ、これらのサイクルの結果、二酸化炭素などの温室効果ガスの過剰排出を引き起こし、地球温暖化の要因となっています。

「循環型社会」とは、これに対して天然資源の消費を抑制し、環境への負荷を減らした地球に優しいシステムであり、「地産地消」、「有機農業」、「バイオマスなどの再生可能資源の利用」や「太陽光線・風といった永続的資源の利用」などの具体的な取り組みがあげられます。

高知の農林水産業には、元々高知に住む人は気づかない、「未開の原石」がたくさん埋もれています。高知大学物部キャンパスフォーラムでは、循環型社会への取り組みの一環として、これら原石を見つけ出し、どのようにすればキラリと光るか、また、その輝きを持続させる為には何が必要かを「エコもったいない」の視点から、若手教員の研究を分かりやすくご紹介したいと思います。

環境問題について、農林水産業関係の方々だけでなく、一般の皆様にも身近に感じていただけるよう、多数の皆様のご参加をお待ちしています。

プログラム

■ 講演 (13:00 ~ 15:30 (各講演約30分))

「捨てるなんてもったいない！僕が魚の餌に使います！！」	農学部 海洋生物生産学コース主担当 准教授	深田 陽久
「私たちの暮らしや農林水産業に不可欠な水 ~ その保全と再生 ~」	農学部 流域環境工学コース主担当 教授	藤原 拓
「身近な気象・環境を資源として活かす農への挑戦」	農学部 暖地農学コース主担当 准教授	安武 大輔
「東南アジア山村からみた高知 - 高齢化・過疎化にどう向き合うか - 」	農学部 国際支援学コース主担当 准教授	市川 昌広

■ パネルディスカッション (15:45 ~ 17:00)

会場の皆様のご意見もお聞きしながら、講演講師と司会者によるディスカッションを行います。



種なしスイカ … 農学部暖地農学コース主担当教員が研究開発中の文字通り種のないスイカです。本来種に用いられる養分が果肉全体に回るため、豊かな甘みがあります。



ゆず(柚子)ブリ … 今回の講演講師である深田准教授が鹿児島県の水産業者と共同開発した柚子を飼料に混ぜて育てた魚で、その身は柚子の香りがします。



お問い合わせ先 高知大学 総務部 教員支援課 物部室 (〒783-8502 南国市物部乙 200)

電話 : 088-864-5112, 5114 FAX : 088-864-5200 Eメール : sk31@kochi-u.ac.jp